

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3494)

E-mail： c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 82,160 千円 (前年度予算額：490,128 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	490,128	0	0	0	0	0	0	439,800	50,328
要求額	82,160	0	0	0	0	0	0	73,600	8,560
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

(2) 事業内容

県立社会福祉施設の営繕工事（実施設計及び改修工事）を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

【継続工事（令和元年度からの債務負担）】

- 陽光園照明器具改修工事 23,465千円
施設建築から45年を経過し老朽化が著しいため改修する。

【継続工事（令和2年度からの債務負担）】

- みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 54,541千円
施設建築から39年を経過し老朽化が著しいため改修する。

【新規工事】

- はなの木苑自動火災報知設備等改修工事 2,328千円
前回改修から22年が経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。
- みどり荘自動火災報知設備等改修工事 1,826千円
供用開始から41年が経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 10 / 10 (予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	33	改修工事現場への出張旅費
使用料	15	出張に係る高速代
需用費	172	消耗品費106千円・燃料費66千円
役務費	82	郵送費・通信費
委託料	10,402	改修工事の設計委託料・工事監理委託料
工事請負費	71,456	改修工事の請負費
合計	82,160	

決定額の考え方

--

4 参考事項

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標	
					達成率	
① 実施が必要な大規模営繕工事の年度実施件数	-	6	10	6	/	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの丘第一・二学園空調・衛生設備改修工事 ・ひまわりの丘第三学園作業棟給排水設備改修工事 ・みどり荘下水道接続工事
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの丘第一・二学園防犯設備設置工事 ・ひまわりの丘第一・二学園照明設備改修工事 ・はなの木苑土砂等防護柵設置工事
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】